

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	100%			個別学習、運動、静養、相談など、各活動に 合わせた十分なスペースを確保できている
	2	職員の配置数は適切であるか	66.8%	33.2%		人員配置基準を上回っているが、十分な支 援を行うために職員の募集をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	66.8%	33.2%		トイレはバリアフリー化が困難ではあるが、 利用者に配慮しながら設備の拡充を行って います。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いるか	50%	50%		朝会時を活用して職員ミーティングを実施し 、問題解決や業務改善に努めています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把 握し、業務改善につなげているか	33.2%	66.8%		12月に実施
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか	100%			ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか		50%	50%	今後、検討したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	83%	17%		職員各自が研修会や勉強会に参加し、脂質 の向上を目指しております。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成しているか	100%			寄り添う姿勢を意識し、日々の変化を記録 し、検証し計画に反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	66.8%	33.2%		標準化されたシートについては、今後検討し ていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている か	50%	33.3%	16.7%	日々の打ち合わせにおいて実施。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	50%	50%		興味の幅など子どものニーズに合わせて模 索している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	50%	50%		休日には、手づくりおやつ、外出などを実施 している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成しているか	100%			子ども達一人ひとりのニーズに合わせて組 み合わせを考えている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ の日行われる支援の内容や役割分担につい て確認しているか	50%	33.3%	16.7%	朝会にて確認
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付 いた点等を共有しているか	33%	33%	33%	翌日の朝会にて打ち合わせを実施
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			指導計画に基づき、気づいたことを記録して いる。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	83%	17%		定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて見直しを実施。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	83%	17%		ガイドラインを意識して実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			児発管が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			地域に密着した支援環境を意識しているため、学校等の連携には常に配慮している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-	-	現在、該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	50%		情報共有と連携に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	-	-	-	今まで該当者なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33%	33%	33%	必要に応じて今後実施したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		50%	50%	児童公園やキッズルームなどを利用しているが、今後児童館との交流を考えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		50%	50%	今後、参加を考えたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%	17%		送迎時等に保護者に対して丁寧に報告するように心がけている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	50%		日々の様子を共有するなか、保護者の悩みや課題に寄り添うように努めている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83%	17%		見学時と契約時、丁寧に2回説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			連絡帳や送迎時に対応しているが、解決できない内容については、緊急度に合わせ電話や保護者面談で対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33%	33%	33%	親子合同行事等ご家族で参加できる行事等を実施しております。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				重要事項説明の記載のとおり担当者がやかに対応するように心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				ホームページにて情報提供。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%				同意書を取り交わす等十分注意して実 ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	83%	17%			先入観や思い込みでなく、子どもの行重 前後の様子や日頃の様子との相違点な ら思いを汲み取るように努めている。情報 達については、その児童(保護者)が受け めやすい方法をとっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	33%	33%		契約児童以外でも活動に参加できるよ している。また、地域活動の参加を増す。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	66.8%	33.2%			保護者への周知は不十分なので、今後 施していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	83.4%	16.6%			定期的に3回避難訓練等を実施してい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	66.8%	33.2			研修会に参加させ、内部で勉強会を実 た。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	-	-	-		現在、該当なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	-	-	-		現在、該当なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%				日々の記録に記載するようになっている。